

紀南病院広報誌

第24号

平成23年4月

# つながり

紀南病院スローガン(22年12月～) みんな思いやる 心と心で 暖かい病院づくり



職員の見送りの中、退職される野口孝前院長(3月31日)



脳外科外来

## ■病院理念

優しく、温かい、確かな医療を提供し、紀南の環境文化に根ざした地域連携の充実に努めます

## ■基本方針

1. サービス精神 (KINAN) の徹底—— (K)気持ちこめて、(I)いつまでも、(N)納得のいく、(A)安心で安全な、(N)任務の遂行
2. 患者さんの権利を尊重し、わかりやすい説明を助行
3. 生活の質の向上 (QOL: quality of life) を中心とした診療と運動
4. 行政や医師会と協同した地域医療の向上 (救急医療・高齢者医療・健診・地域連携・福祉など)
5. 職員研修の強化と連携地区医療教育の必須化
6. 職場環境の改善と健全な病院経営に基づく医療環境の提供



## 院長就任のご挨拶

院長 須崎 真

この度、2011年4月1日付けで、野口 孝前院長の後任として紀南病院院長を拝命いたしました。前院長の野口 孝先生、前々院長の梅田一清先生は病院にとっても、住民の皆様にとっても価値のある数々の業績を残してくれました。このような立派な先輩方を見習って、私も病院の体制強化や接遇、住民の皆様の健康管理・健康増進に貢献できるように、努めたいと思っています。

さて、紀南病院は昭和23年9月に前身である南牟婁民生病院としてスタートし、以来、紀南地方の基幹病院としての役割を持ち続けて発展してまいりました。ところが、昨今の全国的な医師不足の影響は当院にも大きく影響し、常勤医の減少などで、住民の皆様には一般診療、救急診療の面でご不自由をおかけしております。しかし、私たちが直面しているこの様な難局は病院の力だけで乗り切れるものではありません。医療を地域全体の公共インフラとして捉え、地域ぐるみで智恵を出し合い、問題解決に当たることが不可欠です。

医師不足の問題のほかにも、防災・救急対策や病院内でも労働環境の改善など、とり組むべき課題はたくさんあります。

先般の東日本大震災では多くの方が犠牲になる未曾有の大惨事となりました。大変痛ましい出来事で、被害に遭われた方々には深くお悔やみを申し上げます。紀南病院では、少しでも現地の方々の救援に参加したいという思いで、医療派遣団を形成し、県の指示にて医療活動に参加する予定にしております。

震災や津波は、東南海地震を控えている我々にとってもひとつごとではありません。防災に関しては、当院でも急を要する課題の一つとして捉えており、現在、紀南病院では老築化した病棟の耐震化を急いでおります。

また、紀南地方は地理的な問題や交通網の脆弱性から、豪雨や震災などの災害時には孤立する可能性が大いにあります。対応策として、今回の震災報道でも度々登場した、ヘリコプターの有効利用が考えられます。救急搬送における救命率の向上や、災害時の人や救援物資の輸送には非常に有用な手段になりますので、病院敷地内にヘリポートの設置を考慮しております。そのほかにも紀南病院として取り組むべき問題に対して、随時対処して行きたいと考えており、利用者の皆様に、「紀南病院を受診してよかった」といわれるような診療体制を目指します。今後とも住民の皆様や行政の皆様、医療・福祉関係の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



## 野口孝前院長が名誉院長に就任

5年間にわたり、熱い情熱でリードし、深い愛情で支えてくださった野口孝院長が、23年3月31日をもって紀南病院を退職されました。野口先生には、紀南病院名誉院長の称号が授与され、引き続き当院への指導や、診療支援などをしていただく事となりました。野口先生は4月から津市一身田にあります「第二岩崎病院」の院長として就任されました。

また、野口先生から、入院患者さんの荷物の運搬が少しでも楽になるようにと、運搬用カートに10台寄贈いただきました。病院内の玄関等に配備しておりますので、是非ご活用ください。



野口孝名誉院長から寄贈されたカート

## 紀南病院組合議会 3月定例会の報告

去る3月29日、紀南病院組合の定例議会が開催されました。副議長に紀宝町選出の市川潔議員が就任、議員から選出される監査委員に紀宝町選出の榎本健治議員が選出されました。

人事院勧告による給与条例改正の専決処分の承認、平成22年度補正予算、平成23年度市町負担金、平成23年度予算案が原案通り可決となりました。

平成23年度予算につきましては、昨年度同様赤字予算案の計上となっております。



耐震工事中の中央館

赤字見込み額は5千8百万円（内「きなん苑」は6千3百万円の黒字）でこの予算は前年と比較すると5千5百万円ほど赤字額が縮小となっております。

本年度は本館、北館の耐震補強工事を予定しています。





## 心不全について

循環器内科 山門 徹

\*山門先生には月1回の外来診療支援に来て  
いただいています。

心不全とは心臓の病気が重く、次第にその働きが悪くなり最後にたどり着く状態と考えられます。それまで心臓や体は様々な工夫をしてその機能を保とうとします。しかし、それでもどうしてもうまくいけなくなったときを心不全といいます。最近高齢化とともに心不全が増加し、循環器疾患の救急患者で最も多い病気とされています。

大人では心筋梗塞、高血圧あるいは拡張型心筋症による心不全が多く、これは心臓の筋肉が弱り全身に血液を送り出せない状態（収縮性心不全）になります。一方、高齢化に伴い、特に高血圧、女性で、心臓が正常に動いていても、心不全になる方も多く見られるようになりました。これは、心臓（左心室）が厚くなって硬くなり、その結果心臓の開きが悪くなり、血液が入りにくくなっておこる心不全（拡張性心不全）です。この2つのタイプの心不全の比率は同じくらいとされており、症状の起こり方により急性心不全と慢性心不全に分けられます。

症状は様々ですが、最初のころは動いたときの息切れが多く、進めば何もしないときでも息切れが見られるようになります。足や全身のむくみも多い自覚症状です。息切れは肺の中の水分が、むくみは皮膚の水分が増えた状態です。そのほか、食欲不振（胃腸がむくむためにおこる）、睡眠時無呼吸症候群（心不全の40%に見られる）、貧血、腎の働きが悪くなることなどがあり、心不全は心臓だけでなく、全身の病気と考えられてきています。

心不全は症状、診察、胸のレントゲン、心電図で大体わかりますが、心臓の動きをみる心エコー図や、採血で心臓から出ているホルモン量（BNP）を測定すれば、より詳しくわかります。必要なら心臓カテーテル検査による精密検査を行うこともあります。

治療は、塩分制限のほかに、以前はジギタリス（心臓の動きを少し強くする）と利尿薬（体の中の余った水分を尿として出す）が主流でした。しかし、この20～30年の慢性心不全の治療からわかったことは「心臓はやさしくいたわってやらなければ……」ということでした。疲れた心臓を強心薬でがんばらせると結果的に悪いことがわかってきたのです。そういうわけで、最近では少量の交感神経遮断薬（心臓を休めさせて回復を図る）とレニン・アンギオテンシン系の阻害薬（身体にはなくてはならないが、心不全の体や心臓の中では多すぎて逆に悪い影響をしているレニン・アンギオテンシン系を低下させる）が治療の中心となっています。これらの薬で、心不全の患者さんの生命予後は格段とよくなっています。特に交感神経遮断薬は劇的に改善することがあり、心移植を考えていた患者さんが全く正常に戻ったことも経験されます。薬でよくならなければ、さらにペースメーカー治療、不整脈治療などを考えます。治療の進歩により明らかに心不全の治療成績はよくなっております。



## 第39回医療功労賞(全国表彰)を奥野正孝先生が受賞



前列向かって右から4人目が奥野先生

地域医療に長年貢献した人に贈られる「医療功労賞」(主催:読売新聞社、後援:厚生労働省、日本テレビ放送網、協賛:エーザイ)の全国表彰18人に、当院内科総括・奥野正孝医師(三重県地域医療研修センター長)が選ばれ、3月10日に東京・帝国ホテルで表彰式が行なわれました。

式終了後には、皇居にて天皇、皇后両陛下より、長年の労をねぎらうお言葉を受けられました。

## 入院生活アンケートを実施

当院「人権問題・苦情対応委員会」では、入院患者さんにアンケート(記述式)を実施しました。いただきましたご意見は全職員に周知し、今後の患者サービス向上に生かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

◎職員の対応に対する満足度(平成23年3月1日実施・配布者数65名:回答者数45人)

	非常に満足(人)	満足(人)	普通(人)	やや不満(人)	非常に不満(人)	
医師の対応	19	16	9		1	(回答数45人)
看護師の対応	15	17	12	1		(回答数45人)
看護助手の対応	11	17	6	1		(回答数35人)
補助員の対応	8	20	7	1		(回答数36人)
介護職員の対応(療養棟のみ)		3	4			(回答数7人)
薬剤師の対応	8	11	14	2		(回答数35人)
リハビリ職員の対応	14	13	7	1		(回答数35人)
放射線技師の対応	5	11	12	3	1	(回答数32人)
その他の職員の対応(事務員-MSWなど)	6	7	7		1	(回答数21名)

### ◎自由記述欄回答(一部)

- 痛くて気まますを言っても、それに対して気長に付き合ってくれて、感謝しています。医師は病気に対してははっきり答えて頂き、看護師はきびしくやさしい言葉をかけしてもらえてうれしい。皆がコミュニケーションの取れた紀南病院であって欲しい。我々にはとても大切な病院です。
- 看護婦さん達が毎日、笑顔で、そして親切で、言葉がはっきりしていて、とっても好い。患者にとって、言葉が一番だいじだと思います。
- 患者さんに対して、もう少しやさしく話し掛けてやって欲しいと思います。
- 看護師によって、対応が良い人、悪い人のむらが大きい。
- 特別室のトイレ、ウォシュレットに変えてほしいと思います。(⇒特別室はウォシュレット設置を予定しています)
- 備品、器具、老朽化が目立つ、トイレが古い。
- 給食の味付けの工夫を要望します。
- 医師不足の解消を。

等



## 私の趣味

### ～ 剣道とピアノ～



脳神経外科 仲尾 貢 二

剣道とピアノは今の私にとってなくてはならぬものです。

剣道は中学校から始め、大学卒業まで剣道部に在籍しました。大学時代はかなり打ち込んでいて、東海地方の医歯業系の大会では入賞したこともあります。卒業時は三段でした。医師として働くようになってから、かなり長い間ブランクを作りましたが、当地に赴任した一昨年から再開しました。神木の道場「竜晴館」へ週に1回の稽古に通うようになりました。尊敬できる指導者にめぐり合うことができ、厳しくも親身な指導を受けています。剣道の心得のある研修医を稽古に連れていったこともあります。当院では剣道の研修も受けることができます。高段者との稽古は、竹刀を構えて向かい合うだけで、かなりのエネルギーを使いヘトヘトになります。しかし、終わった後の爽快感は格別で、今日も稽古に来てよかったなと実感します。本当によい汗をかきます。昨年夏に昇段審査に合格して、四段となりました。



ピアノは40歳から始めました。当時、妻と娘がレッスンを受けていた、髪の長い綺麗な先生に弟子入りしました。まったくの素人状態でしたが、音楽は好きなほうだったのでト音記号の楽譜は読めました。「大人のためのピアノレッスン」という本を教材に、まじめにレッスンに通いました。初めて暗譜で弾けるようになったのは「アメージンググレース」。この曲で発表会にデビューしました。

発表会は3回出ました。なかには散々のでき、ということもありましたが、娘、妻と連弾したことが良い思い出です。クラシックの有名な曲では「エリーゼのために」をまず練習して昨年の発表会に出ました。現在はショパンの「ノクターン第二番変ホ長調」に取り組んでいますが、なかなかきちんとは弾けません。ショパンのピアノ曲がとても好きで、手術室ではBGMにお願いしています。

当面の目標は「ショパンを弾く剣道五段」です。

スポーツと音楽は人生を豊かにしてくれると確信しています。



連弾「アヴェマリア」、妻と



区 分	月	火	水	木	金	
内 科	1 診(初診)	奥野正孝内科総括	奥野正孝内科総括	中前 範子医長	小林 文人医長	奥野正孝内科総括
	2 診(再診)		中前 範子医長			
	3 診(再診)	西久保公映副院長	西久保公映副院長	西久保公映副院長	西久保公映副院長	西久保公映副院長
	4 診(再診)	小林 文人医長	小林 文人医長	小林 文人医長	小林 文人医長	
外 科	1 診	泌尿器専門外来(第1月曜日) 小川 朋子医師	須崎 真院長			泌尿器専門外来(月1回) *住田 安弘医師 *任職前専門外来(月2回) 三重大学医師 *循環器専門外来(月1回) 山門 徹医師
	2 診	大倉 康生医師	大倉 康生医師	大倉 康生医師	藤井 武宏医師	藤井 武宏医師
整形外科	再 診	中空 繁登医長		中空 繁登医長	濱口 貴彦医師	濱口 貴彦医師
	初 診	濱口 貴彦医師		濱口 貴彦医師	中空 繁登医長	中空 繁登医長
脳神経外科	2 診	仲尾 貢二医長	仲尾 貢二医長	仲尾 貢二医長	仲尾 貢二医長	脳ドック専門外来 仲尾 貢二医長
眼 科	1 診	久保 朗子医長 (第1・第3・第5休診)	久保 朗子医長	久保 朗子医長	久保 朗子医長	久保 朗子医長
産婦人科	初 診	紀平 知久医長	前沢 忠志医師	紀平 知久医長	紀平 知久医長	前沢 忠志医師
	再 診	前沢 忠志医師	紀平 知久医長	前沢 忠志医師	前沢 忠志医師	紀平 知久医長
小 児 科	1 診	間宮 範人医長	間宮 範人医長	間宮 範人医長	間宮 範人医長	間宮 範人医長
皮 膚 科	1 診	嶋 聡子医長		嶋 聡子医長		嶋 聡子医長
神 経 内 科	1 診					成田 有吾医師 木田 博隆医師 谷口 彰医師 畑中 良夫医師 もの忘れ外来(月1回) 佐藤 正之医師
泌 尿 器 科	1 診			加藤 学医師		月1回不定期 岩本 陽一医師
目 鼻 咽 喉 科	1 診				松浦 徹医師(午前)	
歯 科 口 腔 外 科	1 診	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長	平本 憲一医長
備 考	<p>※ 受付時間は午前7時30分～午前11時30分までとなっております。ただし、急患については時間外でも受付します。なお、当院を初めて受診される患者様及び、診察券をお持ちでない患者様の受付時間は、午前8時からとなります。</p> <p>* 整形外科・皮膚科の受付時間は午前7時30分～11時までとなります。</p> <p>* 神経内科の診療は、現在 新規の患者様の受け入れが困難な状況です。内科・脳神経外科等へご相談下さい。</p> <p>* 眼科は、第1・第3・第5月曜日は休診となります。</p> <p>* 泌尿器科の受診希望される方は、かかりつけ医からの紹介予約が必要になります。かかりつけ医にご相談下さい。</p>					

## 着任先生紹介

①前任地 ②趣味 ③医師を志した理由 ④抱負



おおくら けんじ  
外科医師 大倉 康生  
(3月1日着任)

- ①三重大学附属病院
- ②野球観戦、テニス
- ③人に喜んでもらえる仕事をしたいと思ったから
- ④地域の皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。



なかのら しげのり  
整形外科医師 中空 繁登  
(4月1日着任)

- ①山田赤十字病院
- ②サッカー
- ③幼い頃、自分自身が膝の怪我を治してもらったから。
- ④地域に根ざした医療を精一杯頑張ります。



うらがみ しゅんぺい  
内科医師 浦吉 俊輔  
(4月1日着任)

- ①町立南伊勢病院
- ②ドライブ
- ③自分も小児喘息であったため
- ④2年前お世話になった紀南病院に帰って来て、非常に嬉しく思っています。前以上に頑張っていきます。



つじ まさひろ  
内科医師 辻 正範  
(4月1日着任)

- ①山田赤十字病院
- ②読書
- ③かっこよかったので
- ④日々精進します。よろしくお願ひします。

## 院内「接遇研修会」

紀南病院組合「ハートフル委員会」は、4月11日(月)に、当院職員を対象にした「接遇研修会」を実施しました。新規採用職員を含めて、60名が参加。「接遇の基本的考え方」講義と、グループに分かれての面接ロールプレイ(役割演技)を行ない、接遇能力の研鑽に取り組みました。

